

# 平成29年度 砺波市職員緊急時参集訓練の実施について

## 1 訓練の目的

災害発生時における、職員の初動体制についての検証を行うとともに、職員一人ひとりの災害に対する意識を高めることを目的として実施したものである。

また、出水（梅雨）期前であることから、併せて緊急時における全職員への連絡体制の確立を図ったものである。

## 2 実施日時

平成29年6月2日（金）午前7時00分～午前8時20分

※なお、職員へは平成29年5月29日（月）から6月2日（金）の早朝等の勤務時間外において実施することのみ伝えてあったもの。

## 3 訓練想定

砺波平野断層帯東部（高清水断層）を震源とし、砺波市で震度5強、南砺市・小矢部市で震度6強を観測した。その後、同規模の余震が続いている。

砺波市地域防災計画に基づき、第2非常配備（警戒体制）とし、災害警戒本部を本庁2階第1会議室に設置したが、余震が続いているため、第3非常配備（災害対策本部：全職員登庁）に切り換える可能性があることを想定したものである。

## 4 対象職員

砺波市地域防災計画地震編等の規定に基づき、各課等に配置する2名の災害時非常連絡員及び災害時地区連絡員並びに災害警戒本部職員の計100名を対象としたもの。（※本庁、庄川支所、健康センターに勤務する職員のみを対象）

## 5 訓練内容

- (1) 本部からの情報伝達訓練
  - ・災害時非常連絡員及び災害時地区連絡員への情報伝達訓練（メール配信）
- (2) 各課等内の情報伝達訓練
  - ・各課等の災害時非常連絡員から所属職員全員への情報伝達訓練
- (3) 各課等から本部への状況報告訓練（発災30分後、発災60分後）
- (4) 各種防災システム機器用の非常電源（発電機2台）設置訓練
- (5) 移動系防災行政無線の通信及び報告訓練（庄川支所、健康センターとの交信）

## 6 参集結果

- ・ 7時30分現在（発災30分後） 92人参集／100人中 参集率92%
- ・ 8時00分現在（発災60分後） 97人参集／100人中 参集率97%

## 7 その他

今回の訓練の検証を行うとともに、今後の実効性のある訓練の実施に向け、訓練参加職員全員へアンケート調査を実施する。